

(2012 年 11 月 19 日)

パレスチナに関わる国際 NGO の共同体、AIDA<sup>1</sup>加盟の 38 団体は、  
ガザ地区での軍事対立長期化による人道的危機について警告します

ガザ地区及びイスラエルでの一般市民に対する日々の武力攻撃の深刻化を受け、国際 NGO38 団体は、市民の生命と財産を守り、ガザ地区における長引く軍事対立による人道危機のさらなる拡大を防ぐため、停戦実施について迅速な行動を取るよう全世界のリーダーに訴えます。

AIDA 加盟団体は、「国際社会はイスラエル政府に対し、ガザ地区への緊急人道支援物資のルートを確認するよう、至急働きかけるべきだ」と述べました。併せて、紛争当事者すべてに対し、戦闘行為を停止し、国際法に定められた事項を守るよう強く要請しました。

Oxfam のカントリー・ディレクター、ニシャント・パンディ氏は以下のように述べています。  
「世界の指導者たちは、ガザ地区で市民に犠牲者が出てイスラエル軍が攻撃を続けるのを黙って見ているべきではない。私たちは即時の停戦を訴えます。現在の混迷は、5 年にわたるイスラエルの（物資輸送路）封鎖と 2008-2009 年の“キャスト・レッド（鑄込まれた鉛）”作戦の結果、ガザ地区のパレスチナ住民が受けてきた人道的脅威を更に悪化させる危険をはらんでいます。状況の深刻化と治安の悪化を招くだけであり、イスラエル、パレスチナ人双方の正義と持続的平和への道が危険にさらされます。」

この呼びかけは、ガザ地域の病院や医療活動団体からの、「治療に最低限必要な医薬品や医療機器が底をついてきている」との報告を受けて発表されたものです。エスカレートしていく暴力により、医療活動続ける団体やローカル・スタッフの活動が困難になっています。AIDA 加盟団体は、負傷者の救護や、食糧・その他住民が必要としている物資の調達について困難が広がっていることを憂慮しています。

西岸地区・ガザ地区で活動する NGO、Mercy Corps のカントリー・ディレクター、アレクサンダー・ミルティノヴィチ氏は、「イスラエルとハマスの武力抗争により、女性・子どもを含む多数の人々が集中攻撃に巻き込まれる危険があります。私たちは、紛争当事者と世界のリーダーたちに対し、政治的解決を探り一人たりとも犠牲者を増やさないよう訴えます。世界のリーダーたちが仲裁に立ち上げられなければ、ガザ地区は新たな人道危機の瀬戸際に追い込まれることになります。」と述べています。

この数日の民間人の死傷者数に言及して、AIDA 加盟団体は、「紛争当事者たちに、国際人道法によって定められた市民の保護を最優先させることが決定的に重要だ」としています。

また、多くの住居が空爆や砲撃を受けているため、保護が人命だけでなく住居等の施設にも及ぶよう強調しています。

Save the Children のカントリー・ディレクター、アレックス・シェイン氏は、「私たちはガザとイスラエルの状況に深く憂慮しています。子どもたちにも犠牲者がでています。軍事的衝突は常に、子どもたちに最も重い負担を強いることになります。『Save the Children』は全紛争当事者に、戦闘行為を即時中止するよう要求します。」と述べました。

敵対行為を終わらせるため、加盟 38 団体は国際社会に対し、2009 年 3 月に可決された国連安保理決議第 1860 号を実行に移すことの必要性を訴えました。この決議は、恒久的停戦のための条件設定、紛争当事者間の長期的安全保障への道筋を示したものです。

アメリカの非営利法人 The Cater Center の現地事務所ディレクター、ディヴィッド・ヴィヴァーシュ氏は、「国連安保理決議第 1860 号の全面的実施に失敗すれば、今求められている恒久的な紛争停止どころか、暴力の連鎖に油を注ぐ結果となります。国際社会は、市民を保護し、当事者に対しては戦闘行為を即時停止し、和平に向けて動くよう圧力をかける義務があります。」と述べています。

イスラエルによる封鎖地区、ガザで生活している 160 万のパレスチナ人のうち、約半数は子どもで、50,000 人が高齢者です。加盟団体は、新たな軍事行動が起きれば、地域住民の苦痛が増すだけであると述べています。

最後に、CARE のカントリー・ディレクター、ディヴィッド・ホワイト氏は次のように言及しています。「国際社会が必要な行動を起こさなければ、住民が最も重い負担を背負うことになります。現地には、破壊された住居のがれきの中に住みながら活動を続ける CARE スタッフや、ローカルスタッフの家族がいます。戦闘行為を中止させる力のある人たちが行動を起こすことが決定的に重要です。軍事対立による更なる人的被害の代償は余りに高すぎます。ガザ地区の住民は、生活をもう一度立て直すだけの余裕はないのです。」と述べています。

(以上)

#### 【注】

国連人道問題調整事務所（OCHA）からは、2008～2009 年の「キャスト・レッド」作戦におけるパレスチナ人犠牲者は 1,400 人（うち 353 人は子ども）、負傷者は 5,300 人にのぼると伝えられています。また、イスラエル側でも 3 人の一般市民を含む 13 人が犠牲になったと伝えられています。

11月14日、イスラエルは、エジプト国境付近の物資運搬路である、ケレム・シャローム検問所を封鎖しましたが、18日には再開し、124台の物資運搬トラックがガザに入ることを許可されました。ただしこの数字は、封鎖開始前の3割にすぎません。

AIDAは、占領下にあるパレスチナ自治区全域とイスラエル国内で活動を行っている80以上の国際援助団体および開発組織によって組織・運営されています。今回の声明には、そのうち38団体が署名しました。なお、AIDAの加盟団体、個々で発表された意見表明等については、AIDAの公式な見解ではありません。

---

被占領パレスチナ自治区で活動する80以上の人道開発機関によって構成される国際開発機関協会 (AIDA)

